

令和5年度 岡崎市 避難女性寄り添いサポーター 養成講座のご案内

災害が発生し、避難生活を余儀なくされた女性は、暴力、ハラスメント、女性軽視など、あらゆる困難に直面します。避難生活では、周囲の黙認、同調圧力などがはたらいで、困難を抱える女性にとって声をあげにくい雰囲気が広がります。そのような女性1人1人に寄り添い、悩みを聴き、必要な支援に繋げる一助となる活動をおこなうボランティア、それが避難女性寄り添いサポーターです。

養成講座受講後のサポーター登録は、任意です。

少しでも興味のある方、まずお申込みください！



日時：令和6年2月21日（水） 13時30分～16時30分

場所：岡崎市役所東庁舎7階701号室

	講座名	講師
講座1	(行政説明) 避難女性寄り添いサポーター 制度の目的と役割	岡崎市こども部家庭児童課 添田 志之舞
講座2	避難女性が置かれる状況、女性の視点における防災・減災、海外の方が増えている現状での課題等(標題未定)	防災ママかきつばた 出口 志穂 氏
講座3	避難女性の心理・避難女性への寄り添い方、支援のポイント等(標題未定)	公財)名古屋YWCA フェミニストカウンセラー 増井 さとみ 氏

※ 申込み方法など、詳細は裏面をご覧ください。

講師：防災ママかきつばた

主にママ向け・親子向けの防災啓発活動を行う。子育てママや地域の人たちが取り組みたくなるような防災講座やイベントを開催。防災を分かりやすく、そして楽しく学べる防災講座が好評。出口氏は防災士の経験長く、地域でも活躍、外国人支援も行っている。

講師：公財)名古屋YWCAフェミニストカウンセラー 増井さとみ氏

フェミニストカウンセラーとしての日頃のカウンセリング業務に平行して、行政機関や学校などで、自己尊重・自己主張スキルを養うためのワークショップや、DV・デートDV防止のための講演などを数多くこなす。豊富な経験から、様々な女性相談機関のスーパーヴァイザーも務める。



避難女性寄り添いサポーターとは・・・

災害発生後の避難生活では、女性のニーズは見過ごされがちで、必要な支援が届かなかったり、安全が守られないことが懸念されています。周囲の黙認・同調圧力等がはたらき、避難生活では、悩みを抱える女性に我慢を強いる雰囲気が広がりがちです。問題は周囲から見えにくいままとなり、解決が遅れてしまいます。

「避難女性寄り添いサポーター」は、そういった避難生活を余儀なくされた女性1人1人に寄り添い、悩みを聴くことで、心の支えとなり、必要な支援に繋げる一助となる活動を行うボランティアです。

養成講座受講申込み・サポーター登録

「避難女性寄り添いサポーター」は、養成講座受講後のアンケートで、サポーター登録を希望された方のみが登録されます。登録された方には、岡崎市から登録証を発行します。

(サポーター登録はせず、養成講座の受講のみも可能です。)

対象者 18歳以上の女性

受講料 無料

申込方法 申込書(下欄)を申込先へ提出してください。

(必要事項を記入したはがき、FAX、Eメールでの申込みも可能です。)

申込先 岡崎市役所家庭児童課「避難女性寄り添いサポーター養成講座」担当

〒444-8601 岡崎市十王町二丁目9番地

TEL : 0564-23-6776 FAX : 0564-23-6833

E-Mail : kateijido@city.okazaki.lg.jp

申込期間 令和6年 2月2日(金) 必着

留意事項 サポーター登録された方は、毎年開催する「避難女性寄り添いサポーター養成講座」などを受講し、スキルの維持向上に努めていただきます。サポーター登録期間に定めはありませんが、長期にわたり養成講座の受講が確認できない場合は、岡崎市において登録を削除することがあります。

主催者 岡崎市 (担当: こども部家庭児童課・社会文化部多様性社会推進課)



令和5年度 避難女性寄り添いサポーター養成講座受講申込書

ふりがな 氏名		生年月日	M・T S・H	年	月	日
住所	〒					
電話番号	自宅 ()	-				
	携帯 ()	-				
メールアドレス						

※ 上記必要事項を記入し、岡崎市役所家庭児童課(福祉会館3階)へご提出ください。